

かわぐち

2005. 5月号 No.379

今月の主な内容

- 地区震災復興委員会を開催……………2
 - 固定資産税(土地)の減免申請、現地調査始まる……………3
 - 中越大震災義援金の配分状況をお知らせ……………4
 - 星野町長川口市で防災について講演……………5
 - 町を守る消防団新体制に……………6
 - うつ病は誰でもかかる病気です……………7
- ほか



万一に備え岡平仮設住宅で防火訓練

4月17日、町消防団による田麦山岡平仮設住宅遠距離送水訓練が行われました。これは高台に建つ同仮設住宅の火災を想定して行われた訓練で町消防団員、小千谷消防署員合わせて78名が参加しました。団員たちは田麦山小学校前の防火水槽からホース

と3台のポンプを繋ぎ合わせながら標高差25mの坂を駆け上がり、約500m先の仮設住宅敷地で放水しました。

放水時には仮設住宅の入居者から拍手がおこり、町を守る団員たちの訓練を頼もしそうに見守っていました。

人口の動き

17. 4. 18現在 * ()内は前回からの増減

男	2,706人	(-17)
女	2,894人	(-13)
人口計	5,600人	(-30)
世帯数	1,570世帯	(-4)



広報かわぐち No.379 / 平成 17年 5月号

発行/新潟県川口町(代表者 川口町長 星野和久)企画・編集/川口町役場企画商工課 印刷/衛生勝堂 (〒949-7592 新潟県北魚沼郡川口町大字川口 1974 番地 26 ☎ 0258-89-3112)

かわぐち歴史探訪 36

長岡藩主のお国入り 6



▲馬上でお供する騎馬所

川口宿に関連した研究をご紹介します。
 (3) 大名行列の順列3
 行列の要所所には「騎馬所」と称する馬上でお供する侍がいる。

6尺という駕籠(こしや)だけでも、交代要員を含み80人が必要だ。総勢百数十名の行列の交通整理も必要になってくる。押足軽がこの任務に当たり、行列の前後左右に目配りして進むのであった。
 最後に「惣跡押御横目」という侍が騎馬でお供して本隊(行列の内)が通過するのであった。
 この武士集団の服装はどうであったろう。供人は「野装束」で、即ち布羽織、股引、脚半、甲掛、草鞋、笠を着ていた。上の身分の人は絹羽織と股引の代わりに細袴を着ている。鉄砲、弓槍などを持つ仲間、足軽は藩主の紋所を白く染め抜いた紺の布羽織を着ている。
 押足軽も藩主の紋所を白く染め抜いた茶色の布羽織を着用していた。駕籠脱のほかは、刀を必ず腰に差し、笠と脚半は晴雨に関わらず着用していた。

しかし、槍持は、大鳥毛の槍を持ちにくいためか笠を冠らず鉢巻をしつかりとしていた。
 笠、合羽の着脱も統一され整然とした行列であったと思う。
 本隊の後を追ってくる集団がある。いわゆる輸送隊であり、これを「行列の外」という。先遣隊が持ち運ぶ陣幕、本隊に見える武器、戦陣を張りながらの大移動はなかなか荷物が多い。加えて江戸暮らしの生活必需品やお土産もあったはずだ。
 人が一度に持ち運べる荷物は5貫目、馬は40貫と制限されていたので自前の雇い人足だけで運びきれない。そこで、宿場に常備されている人足25人、馬25匹と足りない分を出してもらい、要所所騎馬の侍が指揮を取りながら進んで一連の大名行列が終わる。(佐藤 栄)

あとがき

▼温かな陽気に雪も少なくなり、ようやく春が訪れました。雪解けとともに町の至る所で家屋の解体、撤去作業が始まり、作業の音が鳴り響いています。いよいよ復興に向けて動きはじめたことを実感します。▼昨年、水害や地震などの災害で活躍した町消防団は、仮設住宅の火災を想定した訓練や新入団員の訓練など、町を災害から守るための訓練を行っています。大きな災害を体験し、万一の備えの大切さを身にしみているだけに、このような日頃の訓練には、頼もしさを感じます。

広報かわぐちは再生紙を使用しています。

かわぐち復興へのみち ~町の復興への取り組み~

地域おこし隊を模範

地区震災復興委員会を開催

中越大震災後、復旧から復興へとつなぐ「震災復興対策本部」が2月1日に設置されました。その後、地域の実情に合った復興を促進するため町内11地区に「地区震災復興委員会」が設置され、このたび第1回目地区震災復興委員会が開催されました。



田麦山地区でのワークショップ

地区震災復興委員会

が策定する「震災復興計画」の一つの柱に「地区別復興計画」があります。各地区では、震災後の固有の課題に対しそれぞれ目標を持って主体的に復興ビジョンを作り上げる必要があります。地区震災復興委員会は、各地区が今後どのように復旧・復興に取り組んでいくか、を皆で検討、提案しながら、よりよい地区別復興計画を作り上げるための場です。

町内各地区で開催

各地区では3月中旬に地区の役員や関係団体の代表などを主体にした地区震災復興委員会を立ち上げ、4月19日の西川口地区を皮切りに、4月28日まで町内10箇所（東川口は先行して実施済み）で開催しました。同委員会では、町から復興は町民自らの復興であること、復興計画は町民からの率直な意見や提案を基に、町民と行政が協働して策定する必要があることなどを説明しま

意見の集約はワークショップ形式で

参加した委員を10人前後にグループ分けした意見交換のため、参加者全員の意見を集めるため、ワークショップ形式で行いました。今回のワークショップでは、参加者全員で、今回の震災で感じたことや問題点をポストイットに記入してもらい、大きな紙に貼り付け、意見を集約していく手法を使用しました。この手法は参加者全員の意見が反映される、全員が集約されるなど、多くのメリットがあります。

委員会での意見や課題を紹介

参加した委員は、初めは戸惑っていましたが、時間がたつにつれ、活発な意見が出されました。

各地区から出た意見や課題は、さまざまです。今後の復旧・復興についてのポイントが浮かび上がっています。各地区の意見をいくつか紹介します。西川口地区：地域が入り組んでいることもあり、避難所が判らなかつた。避難所の指定が必要。

・牛ヶ島地区：国道につながる3本の道路が寸断された。安全な道路の整備が必要。
・田麦山地区：復興にはみんなが元気になる祭りを。

町では、今後、これまでの意見や提案を基に、地区震災復興計画の原案づくりを行います。意見・提案などがありましたら、次回の地区復興委員会（5月下旬頃）までに、地区復興委員に意見をお寄せください。
お問い合わせ 企画商工課 89-13112

壁の築造、杭打ち等が必要と認められる土地

・平面の亀裂のみの土地
・隆起、陥没であっても単に土砂の搬入や切り土のみで復元できる土地

減免の対象外の土地は

減免申請の手續きなど

「固定資産税災害減免申請書」に必要事項を記入し、申請してください。その際、現地の状況の分かる写真があればお持ちください。申請書は税務会計課にあります。

○申請期間 平成17年5月31日(火)まで
○現地調査 申請受付後、随時実施しますが、必要に応じて土地所有者に立合いを求める場合があります。
※土地の評価はさら地主義であるため、損害の認定においても既存建物等の状況は考慮しません。
○減免の決定通知 現地調査の結果に基づき、減免適用の可否を認定し申請者に通知します。
問い合わせ 税務会計課 89-4414

○申請期間 平成17年5月31日(火)まで
○現地調査 申請受付後、随時実施しますが、必要に応じて土地所有者に立合いを求める場合があります。

※土地の評価はさら地主義であるため、損害の認定においても既存建物等の状況は考慮しません。

減免の決定通知

現地調査の結果に基づき、減免適用の可否を認定し申請者に通知します。

問い合わせ 税務会計課 89-4414

震災で被災した土地の固定資産税の減免申請、現地調査始まる

震災の被災者の税負担を軽減するため「川口町」新潟県中越大震災に係る災害被害者に対する町税の減免の特例に関する条例を制定しました。この条例に基づき、固定資産税（土地）減免の申請書の受け付け及び現地調査を行います。

雪解け後に減免申請と現地確認を実施

固定資産税の土地については、雪により現地確認ができなかったため減免できませんでしたが、雪解けにより土地の現地確認が可能になるため、土地所有者に申請していただき、現地調査の結果に基づいて減免を行います。

なお農地(田・畑)については平成16年度は収穫も終わり、農地としての使用収益は完了していると思われませんが、実質的被害は発生しています。固定資産税は財産税であるとの観点から被災を受けた部分



西川口地区震災復興委員会の様子

土地・家屋価格等縦覧帳簿の縦覧開始日及び「平成17年度課税明細書」送付日を延期します

「土地価格等縦覧帳簿」・「家屋価格等縦覧帳簿」及び「課税明細書」は、現在、震災の影響により縦覧の開始日及び課税明細書の送付は延期させていただきます。6月頃に予定していますのでご理解とご協力をお願いいたします。

「土地価格等縦覧帳簿」・「家屋価格等縦覧帳簿」とは

納税者が他の土地や家屋の価格との比較を通じて、自己の土地や家屋の評価が適正かどうか判断するための帳簿です

「課税明細書」とは

町内に所有する資産（土地・家屋）で、固定資産課税台帳に記載された事項をお知らせする明細です

どのように配分されたの

中越大震災義援金配分状況

義援金配分総額は約29億4500万円
 震災発生から全国各地の多くの方から心温まる義援金が町に寄せられました。この義援金は町「新潟県中越大震災」災害義援金配分委員会にて、決定された方針に基づき配分しました。
 これまでに配分した県分、町分の義援金総額は第1次配分、第2次配分合わせて約29億4500万円になりました。義援金の内訳をお知らせします。

義援金の配分総額は (平成17年4月28日現在)

区分	県分	町分	合計
第1次配分額	14億7,735万	7,190万5,000	15億4,925万5,000
第2次配分額	13億2,377万5,000	7,267万6,000	13億9,645万1,000
合計	28億112万5,000	1億4,458万1,000	29億4,570万6,000

義援金はどのように配分されました (平成17年4月28日現在)

第1次県配分額 (平成16年12月10日支払い) (単位:円)

区分	件数	配分単価	配分額
○人的被害			
死者	5人	20万	100万
重傷者	38人	10万	380万
小計	43人	—	480万
○住家被害			
全壊	605世帯	200万	12億1,000万
大規模半壊	142世帯	100万	1億4,200万
半壊	390世帯	25万	9,750万
一部損壊	461世帯	5万	2,305万
小計	1,598世帯	—	14億7,255万
合計	—	—	14億7,735万

第1次町配分額 (平成16年12月24日支払い) (単位:円)

区分	件数	配分単価	配分額
○人的被害			
死者	5人	20万	100万
重傷者	38人	10万	380万
小計	43人	—	480万
○被災世帯割			
被災世帯	1,605世帯	2万	3,210万
○住家被害			
全壊	605世帯	3万	1,815万
大規模半壊	142世帯	2万5,000	355万
半壊	390世帯	1万9,000	741万
一部損壊	393世帯	1万5,000	589万5,000
小計	—	—	3,500万5,000
合計	—	—	7,190万5,000

第2次県配分額 (平成17年4月28日支払い) (単位:円)

区分	件数	配分単価	配分額
○被災世帯見舞金			
・被災世帯割			
被災世帯	1,605世帯	10万	1億6,050万
・住家被害割			
全壊	605世帯	150万	9億750万
大規模半壊	142世帯	80万	1億1,360万
半壊	390世帯	20万	7,800万
一部損壊	393世帯	7万5,000	2,947万5,000
小計	1,530世帯	—	11億2,857万5,000
○仮設住宅入居世帯見舞金			
入居世帯数	347世帯	10万	3,470万
合計	—	—	13億2,377万5,000

第2次町配分額 (平成17年4月28日支払い) (単位:円)

区分	件数	配分単価	配分額
○被災世帯見舞金			
・被災世帯割			
被災世帯	1,605世帯	2万	3,210万
・住家被害割			
全壊	605世帯	3万	1,815万
大規模半壊	142世帯	2万6,000	369万2,000
半壊	390世帯	2万1,000	819万
一部損壊	393世帯	1万8,000	707万4,000
小計	1,530世帯	—	3,710万6,000
○仮設住宅入居世帯見舞金			
入居世帯数	347世帯	1万	347万
合計	—	—	7,267万6,000

星野町長

川口市で防災について講演

4月9日、埼玉県川口市芝市民ホールにおいて、星野町長が「中越大震災から教訓は：地震災害からの教訓」と題し講演しました。
 今回の講演は、震災時に温かいご支援をいただいた川口市の依頼により、市民の防災意識の高揚と地域コミュニティの醸成を目的に行われたものです。

講演会では川口市市民約500名が来場し、星野町長の震災直後の体験談やライフライン等の復旧に至るまでの経緯、地域コミュニティの大切さなどの講演を、参加者は興味深く聴き入っていました。
 また、会場入口では「新潟県中越大震災被災地の人々」と題して世界のトップアーティストの一人で、「災

害救援ボランティア推進委員会」緊急事態対策監を務める須藤真啓さんの当町において撮影した作品の写真展を開催し、来場した市民の方々に、被災地で震災に負けずにがんばっている町民の姿をご覧いただきました。
 また、屋外では「餅つき」を行い、来場した方々につきたての餅を振舞うとともに、えちご川口農業振興公社による物産販売を行いました。



▲川口市での防災講演
 ▶約500名が来場



▲物産販売の様子

地震の体験を語り継ぐ

松岡達英さん 「震度7 新潟県中越大震災を忘れない」を出版

松岡達英さんが中越大震災での自身や家族、木沢地区の皆さんの被災体験談などをまとめた著書「震度7新潟県中越大震災を忘れない」がポプラ社から出版されました。

地震は自然のいとなみと知ってほしい

この本は松岡さんが中越大震災を通して体験したことを中心に町の自然や木沢地区の皆さんの被災体験談などを紹介しています。本を出版した理由について松岡さんは「地震を怖がるだけでなく、地震は地球のいとなみの一部であることや、人と自然が共存し

ていることを多くの人に知ってもらいたかった。もっと自然に興味をもってもらいたい」と話していました。
 松岡さんと出版社は教育に役立ててもらうために本の売上の一部を町に寄付するそうです。
 この本は最寄りの書店及び交流体験館、あぐりの里でお求めになれます。



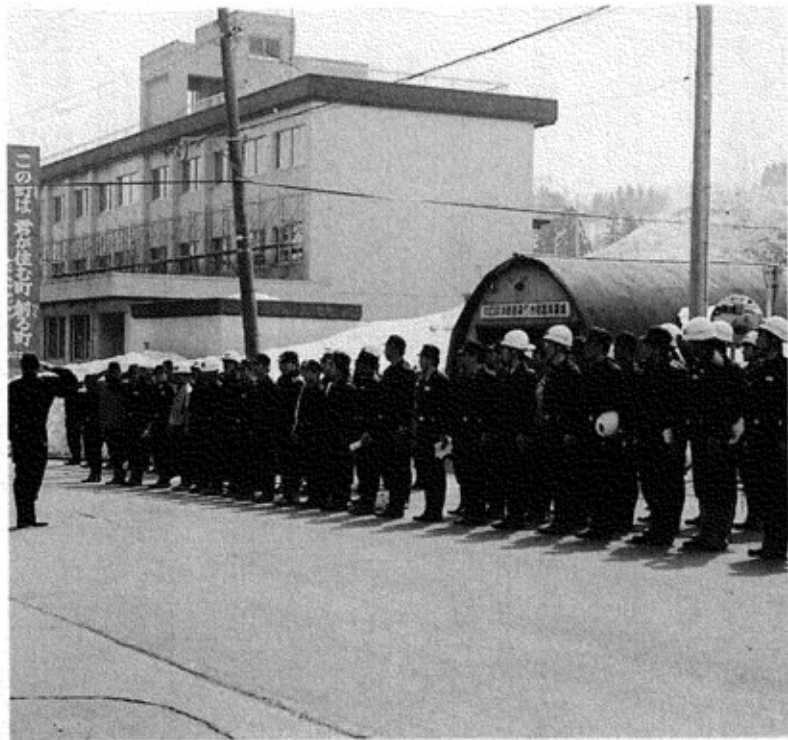
▲震度7 新潟県中越大震災を忘れない



▶松岡達英さん

町を守る新しい力 消防団新体制に

4月から町消防団に21人の団員が入団し、森山団長以下226人の新体制になりました。昨年は、7月の水害で延べ259人、10月の震災では延べ936人が出動し、危険を顧みず積極果敢に災害防衛活動を行いました。これからも地域を守ってくれる町消防団新入団員の紹介と訓練の状況などを紹介します。



町消防団の新入団員らの訓練を実施

4月24日、役場前駐車場において町消防団の新入団員・新任幹部・ラッパ隊訓練が行われました。
新入団員20人、新任幹部3人を含む73人が訓練に参加、新入団員は小千谷消防署川口出張所署員の指導による基礎訓練を行い、新任幹部は本部員の指導で幹部としての訓練を行いました。新入団員は厳正な規律訓練に少し緊張気味の様子でした。
また新入団員を含めて全体の規律訓練を行い、災害時に迅速に行動できるように訓練しました。



新入団員紹介

火災や自然災害など万 one のときに、私たちの力強い味方になって地域を守ってくれる新入団員を紹介します。

- 第1分団 (敬称略)
 - 大川 裕樹 (川口6)
 - 阿部 吉克 (川口6)
- 第2分団
 - 佐藤 正茂 (中山)
 - 砂川 祐次郎 (竹田)
- 第3分団
 - 阿部 俊輔 (武道窪)
 - 江島 康信 (牛ヶ島)
 - 関 真一 (牛ヶ島)
 - 保科 善明 (牛ヶ島)
 - 石坂 宏幸 (相川3)
- 第4分団
 - 涌井 貴志 (川岸)
 - 関口 吉巳 (川岸)
 - 関口 和浩 (小和北)
 - 真島 豊 (荒屋)
 - 真島 健太郎 (原新田)
 - 星野 信也 (原新田)
 - 関 雄一郎 (西倉)
- 第5分団
 - 角張 義竜 (小高)
 - 笹崎 宏明 (田中)
 - 山崎 敏洋 (前原)
 - 森山 裕幸 (田中)
 - 石坂 秀樹 (小高)

町消防団が 消防庁長官防災功労章 を受章

2月25日、町消防団が消防庁長官から防災功労章を贈られました。町消防団は震災から1カ月間にわたり災害対策本部に24時間体制で常駐し、救助捜索活動や避難誘導、災害防衛活動などを行いました。この功績が評価され贈られたものです。
また地域住民のために不眠不休で従事した救援活動が評価され新潟県消防協会からも感謝状が贈られました。

健康をわかりやすく紹介

春なのに…うつですか うつ病は誰でもかかる病気です

うつ病ってどんな病気

大きなストレスが加わった場合、誰でも夜眠れなくなったり、食欲が落ちたりします。うつ病は、これらがひどくなって、そのまま治らなくなってしまう状態です。どの程度から病気と呼ぶかは一概に言えませんが、一日中(たとえ好きな事をして)気分が沈んだ状態(抑うつ気分・興味喪失など)が、2週間以上続く一般的な「うつ病」といわれます。

うつ病は、ストレスが加われば誰でもなる可能性があり、多くの方が罹患するので、よく「心の風邪」と言われます。しかし、放置すれば、他の病気を誘発したり、「自殺」という命にかかわることもあります。きちんと治療すればほとんどの場合良くなります。

つまり、うつ病も「早期発見」「早期治療」が完治への近道です。

特別な病気ではない うつ病

うつ病は特別な人がかかる病気ではありません。日本では、生涯に約15人に1人がうつ病を経験しています。また、男性より女性に多く

(この一因として女性はホルモンなどの関係から、初潮、妊娠、出産、更年期障害と多くのストレスを受けるためといわれています)、中高年になると、更年期障害の症状の一つに抑うつ気分もありますので、本当はうつ病なのに更年期障害のためと思っっている人もいます。

少ないうつ病の受診者

大勢の人が「うつ病」になっても、実際に受診している

る人は25% (4人に1人)と推計されていて、残りの75%の人は病状で悩んでいても病気であることに気づかなかつたり、医療機関(精神科等)を受診しづらいなどの理由で受診していません。本人だけでなく、周りの人も症状を理解して、早めの治療ができるように協力してあげてください。

変だなと思ったら

「早期発見」「早期治療」に効果がある以上、早めの対処が最も効果的です。

自身や家族、周囲の人にうつ病を疑う変化が見られた場合は、精神科等の受診をお勧めします。また、「精神科の受診までは…」と考えている方は町の保健師にご相談ください。町でも専門家による「こころの健康相談」を定期的に実施しています。まずは、気軽に相談することから始めてください。
問い合わせ 末広荘(保健師) ☎89-2359

うつ病を疑うサイン

…自分が気づく変化…

- 悲しい、憂うつな気分、沈んだ気分
- 何事にも興味がわかず、楽しくない
- 疲れやすく、元気がない(だるい)
- 気力、意欲、集中力の低下を自覚する(おっくう)
- 寝つきが悪くて、朝早く目がさめる
- 食欲がなくなる
- 人に会いたくなくなる
- 夕方より朝方の方が気分、体調が悪い
- 心配事が頭から離れず、考えが堂々めぐりする
- 失敗や悲しみ、失望から立ち直れない
- 自分を責め、自分は価値がないと感じる など

うつ病を疑うサイン

…周囲が気づく変化…

- 以前と比べて表情が暗く、元気がない
- 休調不良の訴え(身体の痛みや倦怠感)が多くなる
- 仕事や家事の能率が低下、ミスが増える



最悪のケース

…自殺のサイン…

- 自殺をほのめかす言葉を口にする
- 遺書を書く
- 自殺の道具を準備する
- 身辺整理をする
- 自殺未遂をする
- (このような場合、本人を1人にしないで、刃物やヒモ類は本人の手の届かないところに置いてください。そして、早急に、誰かが同伴して精神科医を受診させてください。)

保育園だより 「大きくなっねー!」

町内保育園では東川口保育園が田麦山分園を統合し、新入園児36人を迎えて新年度が始まりました。

保育園の新たなスタート

東川口保育園は、昨年度の上川保育園の統合に続き、田麦山分園を統合しました。田麦山分園の閉園にあたり、想い出を綴った記念誌「あゆみ」を発行し、田麦山地区全戸に配布しました。4月4日には入園式を行



東川口保育園入園式



西川口保育園入園式

震災による子どもたちの心のケアに力を入れます

い、東川口保育園で24人、西川口保育園で12人の新入園児を迎えました。入園式では町交通安全協会から黄色の安全帽が贈られました。また春に因んだ歌をみんなで元気良く歌いました。現在、東川口保育園では104人、西川口保育園では33人の子どもたちが元気に通っています。

保育園では子どもたちの安全を守り、心も体も健やかに成長する場であるために、子どもたちと関わる保育士の充実を図り、震災から不安定になっっている子どもたちの心のケアなどを行っていきます。子どもたちが安全に育ちあう環境を高めていきたいと考えていますので、小さな事でも心配事がありましたら、いつでもご相談ください。

保育園開放をご利用ください

町内各園では0歳から3歳(来年少入園予定)までの乳幼児に安全に遊べる場として保育園を開放しています。左記の日であれば、どの地区の方でも保育園を利用できます。

保育園開放日程

	東川口保育園 TEL89-2028	西川口保育園 TEL89-3696
5月	18日(水)	10日(火)
6月	1日(水)・15日(水)	21日(火)
7月	6日(水)・20日(水)	5日(火)
8月	3日(水)・17日(水)	2日(火)
9月	7日(水)・21日(水)	20日(火)
10月	5日(水)・19日(水)	18日(火)
11月	2日(水)・16日(水)	15日(火)
12月	7日(水)	20日(火)
1月	18日(水)	10日(火)
2月	1日(水)・15日(水)	7日(火)
3月	8日(水)	7日(火)

※午前9時～11時までの都合のよい時間においでください。
※西川口保育園はこの他に来年少入園予定のお子さんをお呼びする日があります。

子どもたちは自分が養護されている事がわかると徐々に元気を回復していくものです。家庭においても、子どもと触れ合う時間を十分にとり、心の安定を図っていきましょう。

大切な子どもたちのために、園と家庭との連携をとる、焦らず、温かく、成長の喜びを楽しむ子育てをしましょう。

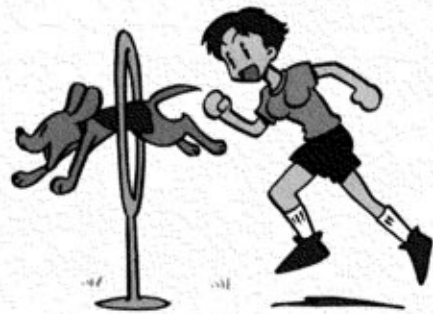
飼い主のマナーを守っていますか

マナー守って住みよい地域

最近、犬のフンが道路や他人の敷地内に放置されているという苦情が増えています。犬のフンの後始末は、飼い主の責任です。飼い主と犬そして地域の人々が気持ちよく生活できるように、飼い主のマナーを守りましょう。

飼い主のマナー三カ条

- ①犬によって迷惑をかけない
道路や公園でフンをする
と、悪臭のもとになるばかりでなく、人への病気の感染にもつながります。飼い犬がフンを敷地内で済ますようにしつけましょう。
また、散歩の際にフンをし
- ②犬は捨てない
飼い犬は家族の一員として終生かわいがってください。犬を捨てると野犬の増加につながります。どうしても飼えなくなったときは、飼い主の責任で新しい飼い主を探しましょう。新しい飼い主が見つ
- ③犬は放さない
飼い犬の放し飼いは咬傷事故の原因にもなり危険です。家では、クサリなどでつないで飼い、散歩の時も引き綱をつけて危害の防止に努めましょう。



からないときは、動物保護管理センター(☎025-792-8619)か、役場生活福祉課に相談してください。捨て犬は絶対にやめましょう。

狂犬病予防注射を忘れずに

狂犬病予防法では、すべての飼い犬について一生に一度の登録と、毎年一回の狂犬病予防注射が義務付けられています。まだお済みでない方は、必ず受けるようにしてください。

日時 5月15日(日) 13時～14時30分
会場 小千谷市役所
対象犬 生後91日以上の犬
問い合わせ 生活福祉課 ☎89-4418

国民健康保険からのお知らせ

4月から6月の保険料を暫定賦課します

4月から6月の3カ月間は、平成17年度の町民税の総所得金額が確定していないため、前年度の最終納期の額と同額を暫定的に納めていただきます。これを暫定賦課とい

います。7月に平成17年度の保険料率及び均等割額を決定し、1年間の保険料を算定します。その年間保険料額から4月から6月までに納めた額を差し引き、残りの額を7月から翌年3月まで9回に分けて納め

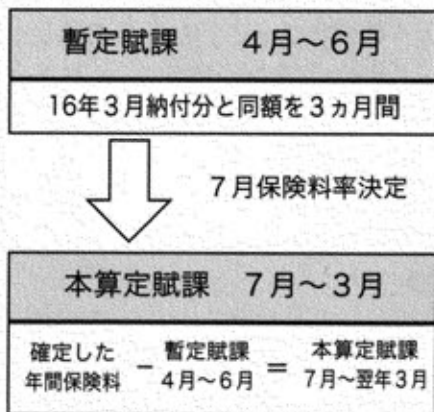
国保の届出はお早めに

ていただきます。これを本算定賦課とい

国民健康保険に加入又は離脱したときは、早めに届け出を済ませましょう。異動の届出が遅れると、国保料と他の健康保険の保険料を二重に納付してしまったり、未納分を遡及されて一度に多額の保険料を納付しなければいけない場合があります。

問い合わせ 生活福祉課 ☎89-4418

保険料賦課の1年の流れ



町火葬場が 使用可能に

震災により大きな被害を受け、これまで使用できなかった町火葬場の修繕工事が3月20日に終了し、使用できるようになりましたのでお知らせします。

問い合わせ
生活福祉課
☎89-4418
火葬場
☎89-2977



町内一斉にクリーン大作戦を行います。ごみのない美しい町は一人ひとりの誇りになります。ぜひ参加しましょう。

川口町クリーン大作戦を 実施します

日時 5月8日(日)
集合 7時50分
作業 8時から1時間程度
解散 9時
その他
・雨天実施
・集めたごみは分別をお願いします
・集合場所など詳しくはチラシをご覧ください
・今年は震災の影響で危険箇所が多くあります。事故のないように気をつけて行動してください。
問い合わせ 生活福祉課
☎89-4418

ガス・水道・下水道 からのお知らせ

雪解けとともに、さまざまな工事が増えてきます。そこで下記の点に注意をお願いします。

家屋の取壊し工事では

事故を未然に防ぐために、工事に支障のないよう水道・下水道・ガスを止めることにご協力をお願いします。また閉栓届の提出をお願いします。

現在仮設管をお使いの皆さんへ

応急仮設管の工事は震災直後に町の経費で実施しましたが、宅地内の仮設配管施設は、基本的に皆さんの資産です。本設工事はご自分で行ってください。

詳しくは公営企業復旧班または指定工事店までお問い合わせください。

問い合わせ
公営企業復旧班
☎89-4417



605町民登山参加者募集
レンゲツツジの大群落が
咲き誇る「湯ノ丸山」
期日 6月12日(日)
集合時間 役場前4時50分
出発 5時
会費 4000円(交通費、旅行保険含む)
定員 23名(集まり次第締め切り)
申込期限 6月5日(日)
問い合わせ 川口山の会(メグロ理容院) ☎89-2140

あなたも仲間に入りませんか
老人クラブ入会のご案内
老人クラブでは、生きがいを持って高齢期を過ごすために「楽しみを中心とした趣味・サークル活動」や「地域社会づくりのためのボランティア活動」「子どもたちとの世代間交流」など、さまざまな活動を行っています。
多くの仲間とともに楽しむことができる「老人クラブ」にぜひ入会してください。
入会方法
概ね60歳以上の方ならどなたでも入会できます。
お住まいの地域の老人クラブ会長に、直接申し込んでください。最寄りの老人クラブがわからない時は、川口町老人クラブ連合会事務局にお問

町民バドミントン大会
を開催します
日時 5月12日～6月16日
毎週月・木曜日 20時～22時
会場 川口中学校体育館
参加資格 中学生以上の男女
内容 男女混合クラス別ダブルス(A・Bクラス)
申込期限 5月6日(金)
問い合わせ
町バドミントン協会
☎89-2248(小宮山)
☎89-3872(平沢)

復興に向かってがんばろう！かわぐち

～震災復興支援イベントのお知らせ～

鼓童かわぐち公演 —伝統の太鼓の響き—

太鼓を中心に伝統的な音楽芸能を全国各地で披露している佐渡の「鼓童」が、当町にやってきます。ぜひお越しください。

日時 5月16日(月) 13時30分～15時
会場 川口中学校体育館
※当日11時ごろから準備等で太鼓の大きな音が響きます。周辺の方のご理解をお願いします。
問い合わせ 教育委員会 ☎89-2119

※訂正とお詫び
お知らせ版(4月20日)6ページ「くらしのこよみ」で、鼓童かわぐち公演「5月15日」は「5月16日」の誤りです。訂正してお詫びいたします。

読売光と愛の事業団(コーラス) 支援コンサート開催 —春のかわぐちに響く美しい歌声—

読売光と愛の事業団の主催で「日本の音楽芸術を創る会」の皆さんが、美しい歌声を披露してくれます。ぜひお越しください。

日時 5月28日(土) 13時から
会場 川口中学校仮設集会所
曲目(予定) 新潟県ゆかりの歌
日本の四季の歌(春の小川など)
世界に一つだけの花 ほか

問い合わせ 企画商工課 ☎89-3112

おたっしや広場(介護予防教室)に ご参加ください

対象 65歳以上の高齢者
※参加又はボランティア希望の方、参加希望者で送迎の必要な方は、在宅介護支援センター(☎89-3974)までご連絡ください。

○5月12日、19日の参加者
携行品 300円
※午後から小千谷病院の理学療法士の先生による転倒骨折予防教室を行います。

■おたっしや広場(介護予防教室)日程

日	対象地区	時間	会場
5/10(火)	和南津、中山	9:30 ～ 11:30	和南津農村公園 仮設集会所
5/17(火)	木沢		木沢会館よろみ
5/24(火)	東川口		末広荘
5/26(木)	上川		貝の沢交流集会 施設
5/27(金)	東川口、西川口	9:30 ～ 15:30	川口中学校仮設 集会所
5/30(月)	田麦山		大形仮設集会所
5/12(木)	東川口、上川、 木沢		末広荘
5/19(木)	和南津、中山、 西川口、田麦山		

子育て支援センターすこやか 5月の日程をお知らせ

・5月12日(木) 手遊びと絵本を楽しもう
・5月17日(火) 4月、5月生まれの誕生会
・5月19日(木) 元気に体操しよう
・5月24日(火) 紙で遊ぼう
※時間は10時30分頃から行います。
○すこやかへのバス運行時刻(運賃無料)
毎週木曜日
行き 東川口保育園前発 10時
帰り すこやか発 11時30分

子育てサークル「ひまわりっこ」からのお誘い

「元気に体操しよう」
どなたでも参加できます。お気軽にお越しください。

日時 5月9日(月) 10時20分から
会場 子育て支援センターすこやか
講師 水科江利子先生
持参する物 飲み物(水分補給)
※東川口保育園前から10時発の送迎バスがありますのでご利用ください。

問い合わせ
子育て支援センター
すこやか

☎89-3555



2005年農林業センサス

ご協力ください



●農林業センサスとは

農林業センサスは、我が国の農林業・農山村の現状と動向を明らかにして、農業・林業行政の推進に必要なデータを整備・提供するために農家や林家など農林業を営むすべての世帯や法人を対象に5年ごとに実施している調査です。

●調査の対象は

農林産物の生産を行うか、または委託を受けて農林業作業を行っている方で、一定規模以上の栽培面積・頭数、事業規模がある方が対象です。

●調査員は

連絡長を中心に地区の方にお願いしています。



●調査の結果は

各種施策の企画・立案などの重要なデータとなるほか、農山村地域の整備など、町づくりに欠かせない資料として利用されます。

また調査内容は、統計資料を作成するためだけに使用するもので、その他の目的に使用することはありませんので、調査の対象となる方はありのままをお答えいただくようお願いいたします。

5月下旬から調査員が自宅または事業所に調査に伺いますので、ご協力ください。

企画商工課
☎89-3112



身近な情報を
お寄せください!

企画商工課
☎89-3112

守ります交通安全

4月6日、町内各小学校の新入学児童を対象に交通安全指導を実施しました。

これは、町交通指導員と川口交番所長が交通安全の呼びかけを行ったもので、交通指導員の手作り交通安全マスコットの配布なども行われました。児童たちは同指導員らの呼びかけに元気良く「はい」と答え、交通安全を約束していました。



保育園児、交通安全の呼びかけ

4月8日、北堀之内除雪ステーションにおいて交通安全指導所を設置しました。

当日、西川口保育園児14人がちびっこ交通安全隊として参加し、約1時間、通行中のドライバー約250人にティッシュやチラシを手渡しながら元気な声で安全運転を呼びかけていました。



5月は消費者月間です

「活かそう権利

めざそう自立」

架空請求・不当請求やインターネット取引に関連するものなど消費者トラブルが急増しており、また個人情報情報の流出などの新しい問題も発生しています。消費者自身も単に「保護される者」としてではなく、主体的に行動し、「自立」を目指していくことが大切です。

「トラブルに巻き込まれないために」

「クリックしただけで、いきなり料金を請求」
アダルトサイトや着メロダウンロードサイトなどへアクセスして何らかの項目をクリックしたところ、「登録ありがとうございます」などと表示され、料金を請求されたという相談が寄せられています。近頃ではパソコンの利用でも同様の手口が増加しつつあります。

○契約が成立していない

いと考えられるため、支払う必要はありません。

○「固体識別番号」「IPアドレス」などが表示されたとしても、それらから個人情報などが伝わることはないように、過度に不安にならないようにしましょう。

○興味本位で不用意にアクセスするのはやめましょう。

問い合わせ 新潟県消費生活センター

☎025-285-4196

企画商工課
☎89-3112

国民年金からの

お知らせ

国民年金保険料若年者納付猶予制度が始まりました

20歳代の方は、本人(配偶者を含む)の所得が一定額以下の場合、申請により月々の保険料納付が猶予されます。

仮に、障害や死亡といった不慮の事態が生じたときに、その月の前々月以前の1年間に保険料の滞納があると、障害基礎年金・遺族基礎年金が受け取れない場合があります。

がこの制度の承認をうけている期間は、滞納の扱いとはならないので安心です。

問い合わせ 生活福祉課
☎89-4418

医療の一部負担金の減額・免除について一部訂正、追加とお詫び

広報4月号15ページでお知らせした医療機関等にかかる一部負担金の減額・免除について一部記載に誤りと追加がありました。

正しい記載は次のとおりです。訂正してお詫びいたします。

○県単及び町単医療(乳児・幼児)支給要件
震災により居住している住宅について全壊、大規模半壊及び半壊の損害を受けた世帯

減免額
県単及び町単医療(乳児・幼児)
入院1日につき1,200円
通院1日につき530円

減免の適用期間
県単及び町単医療(乳児・幼児)
平成16年10月23日から
平成17年4月22日まで

問い合わせ 生活福祉課
☎89-4418

中越大地震におけるコミュニティの重要性を講演

相川地区前総代 廣井伸昭さん



4月23日、狛江青年会議所主催の講演会(テーマ「災害から学ぶ地域の助け合い」)に、大字相川地区前総代廣井伸昭さんが講師として招かれ、災害時におけるコミュニティの大切さについて講演しました。

会場の狛江市立第二中学校体育館には、周辺の親子などを中心に約60名が参加、廣井さんは、自分で撮影した写真などを使い、地震発生時

らの総代としての対応や地区の状況などを説明すると共に、地域の助け合いやコミュニティの大切さを講演しました。

参加者からは「地震発生時、家から持ち出す物の優先順位やタイミング」についての質問や「災害時の対応について参考になりました」の意見も出るなど、有意義な講演会となったようです。

東京都練馬区「照姫まつり」に参加

町の元気をアピール

4月24日、東京都練馬区で行われた照姫まつりに参加し、町の元気をアピールしました。

震災時に支援していただいた練馬区でのまつりに参加し同区民に感謝の気持ちを伝えたいと、復興に向けてがんばっている町の元気な姿や漬物、山菜などのふるさと川口の食をアピールしました。訪

れた客からは「応援しています」などの励まし言葉をいただきました。

照姫まつりは石神井城落城の際に、入水した照姫の伝説に因んだもので、照姫行列などが行われる会場は毎年多くの客で賑わいます。



みんなの広場

皆さんのページです。投稿をお待ちしています！
企画商工課 ☎89-3112

春の復興イベント開催

和南津「春こいまつり」 木沢「春の民謡まつり」

3月27日、和南津地区において公民館とわくわく和南美などの共催による和南津地区復興イベント「春こいまつり」が開催されました。当日は晴天に恵まれ、会場では模型のヒコキ飛ばしやぎょうざ作り、雪中宝さがしなどのレクリエーションが行われ、子どもたちは元気に走り回ったり、大喜びでした。

また豚汁などが振る舞われたり、大抽選会で盛り上がるなど、子どもからお年寄りまでみんなで楽しみました。

最後に「和南津ガンパロー」を三唱して、地区を挙げて復興に向かってがんばっていくことを確認しました。



4月24日、木沢地区公民館体育館において、新潟県民謡協会主催の春の民謡まつりが開催されました。このまつりは、同協会の皆さんが木沢地区を元気づけるために、ボランティアで実施したものです。

当日は会場に十日町小唄や越後追分など、新潟県ゆかりの唄や踊りが数多く披露され、会場を訪れた約300人は大いに盛り上がりました。

地元のサポーター役のぎしばりの会代表小林美知江さんは、「これから家の再建や田んぼの復旧など、大変な時ですが、この民謡まつりで少しでもみんなから元気になってもらいたい」と話していました。



わたしの復興への願い

震災から復興への思いを綴る

震災から復興へ向かって動き始めた川口町。震災体験と復興に向けて自分なりにがんばっていききたいことなど、思いを込めて書いていただきました。

災害に備え万全を期したい

町消防団長 森山 博(田中)



町民の皆様には日頃から消防団活動にご理解とご協力をいただきありがとうございます。

私たち消防団は、災害から地域住民の生命と財産を守るといって活動しているところですが、昨年は火災、水害、大地震と予想を遥かに超える災害が発生しました。特に地震の時には町中の道路が寸断され車輦が思うように使えなかったこと、携帯電話などの通信手段が殆ど機能しなかったこと、全団員が被災したことなど、初期の活動はとても厳しい状況下での対応と

なりました。幸いなことに町民の皆様がとても協力的で消防団の指示、誘導などに素直に従っていただけただけですが、小人数でもさまざまなことへの対応を長期間続けることができたのだと感謝しております。

現在もまだ全てに安心できる状況にないと考えており、通常活動を行いながら万一に備え万全を期したいと思っています。しかしながら年々消防団員が減少しており、災害時の対応に支障を来すことが懸念されます。消防は他人のためではありません。自分のため、家族のため、地域のためとご理解いただき協力をお願いします。

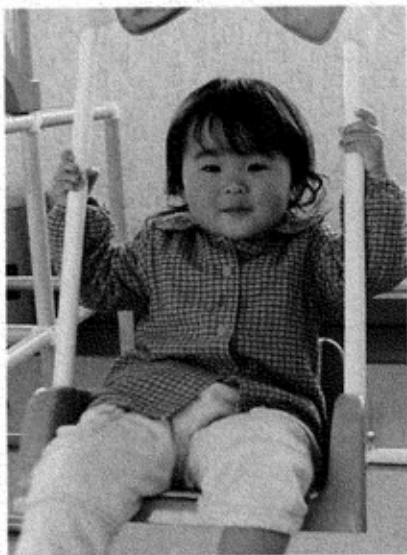
震災からがんばっていききたいことなど、自分なりの思いを一人でも多くの人に伝えませんか。問い合わせ 企画商工課 ☎89-3112

元気ですーかわぐちこい

93

廣井 詩音 ちゃん (相川2・2歳)

おとうさん 歩さん おかあさん 朋子さん



笑顔が愛らしい詩音ちゃん

お友だちがたくさんいる詩音ちゃん、毎日子育て支援センターすこやかで、お友だちとスベリ台やママゴトをして楽しく遊んでいます。いっぱいお話しすることができてアルファベットを言ったりもします。4世代同居9人家族の一番のアイドル詩音ちゃんでした。両親から：素直でやさしい子になってほしいです。

俳句

公民館句会(3月12日) 大内迪子先生選

○雛の箱仮設住居へ積みし
○雪五尺いまだ余震に怯え
○雛の夜の話しへぎる余震かな
久に着し喪服をぬらすはたん雪
ひび割れし壁の気になる春隣
追雛豆拾ふやたちまち手に余る
啓蟄の大地に又も余震かな
日が差せば如月の雪婆婆と落ち
娘の年の五十を数ふ雛飾る
留守訪うて破れ障子に猫の顔
山茶花の地震に負けず咲いてをり
奥座敷立派な雛に見つめられ
震災に雛の出番の失はれ
越後路やのしかり来る雪の壁
春の潮香もなくエメラルドグリーンなる
春嬉しすべてに恵み来るような
病院の窓よりほのと春の声
友の詠む句に傾きし春炬燵
雛の日の仮設に笑ひ戻りけり

村山むら女 山田チヨ 藤田節子 石坂シゲ 岡村佐和子 覚張次郎 上村たつお 佐藤信 新宮山紫 鈴木良仙 星野きの 丸山トシ 丸山好枝 宮ヨキ 三輪京子 目黒せつ 森山菊江 山田久子 渡辺登子一

■次回のお知らせ
5月9日(月) 生涯学習センター
5句投句 投句締め切り 13時

元気モリモリ コンロひとつでアイデア料理

ねぎチャーハン



忙しい時や仮設住宅の狭い台所でも簡単に出来る一品。ちょっとご飯の足りない時に、パックご飯でチャーハンはいかがでしょう。

●材料(2人分)

- パックご飯.....2個
- 焼き鳥缶詰.....1缶
- 長ねぎ.....1本
- 卵.....1個
- サラダ油.....適宜
- 塩.....少々
- しょうゆ・こしょう.....少々

●作り方

- ①パックご飯は電子レンジ又はお湯で温めておく。
 - ②焼き鳥は缶から出し、細かく刻む。
 - ③長ねぎは小口切り。
 - ④卵は割りほぐし、塩少々加え軽く混ぜる。
 - ⑤フライパンを熱し、サラダ油をしき④を流し込んで炒める。いったん取り出す。
 - ⑥フライパンにサラダ油を足し、長ねぎをよく炒める。温めたご飯を入れ、さらに炒める。刻んだ焼き鳥を加え、塩・こしょうで味を整える。鍋はだからしょうゆをかけまし、炒り卵を混ぜ合わせる。
- ※焼き鳥缶詰がない場合は、ツナ缶・ハムウインナーなどで、ねぎと卵だけでもおいしいですよ。

「コンロひとつでアイデア料理」は食生活改善推進委員が紹介しています



右から
星野 美香 (川口4) ☎89-2811
内山 晶子 (川口5) ☎89-2651

